

ほ乳類



20頁 どこにどんなほ乳類がいるのかな？

22頁 ほ乳類を見るポイント

24頁 ほ乳類の図鑑

33頁 似ている種類を見分けよう！
フィールドサインの見分け方

どこにどんなほ乳類がいるのかな？

甲武信ヶ岳

どこにどんなほ乳類がいるか主な種類について、おおよその位置を示してみたい。他にも自分で見つけてみてね！



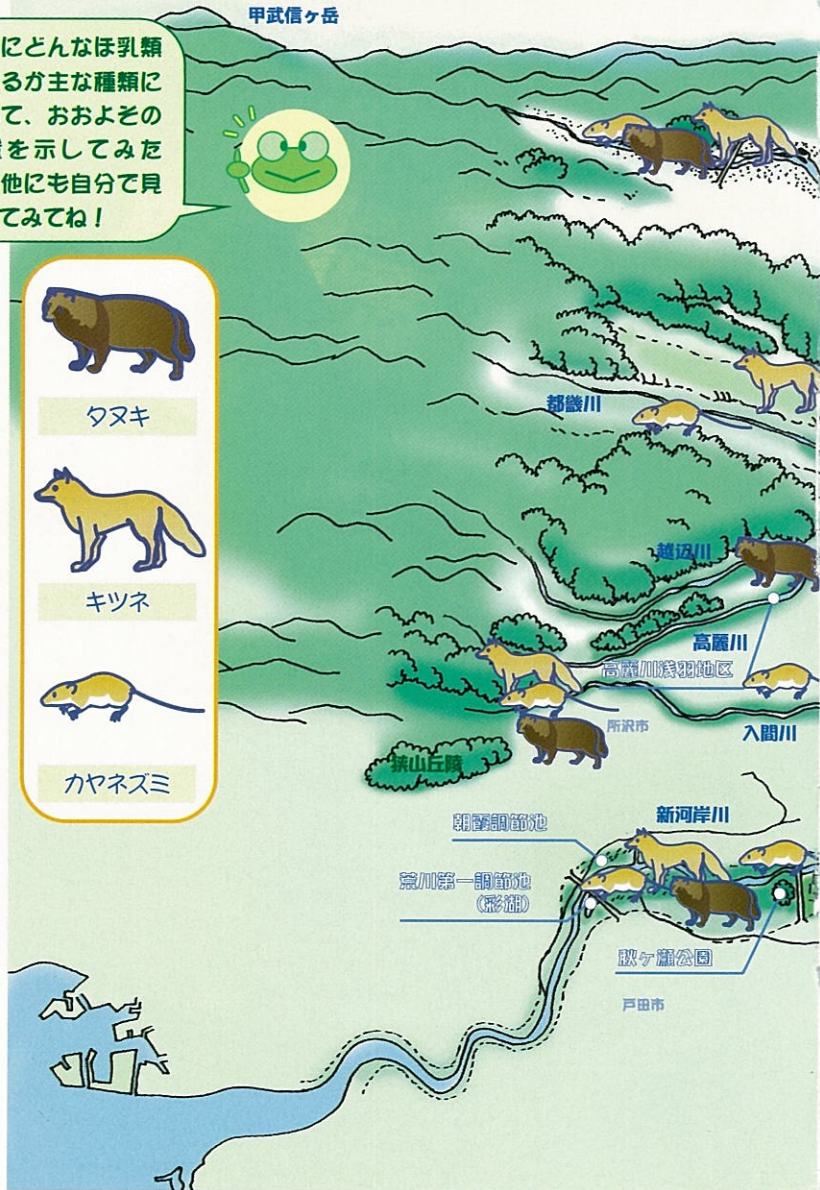
クマ

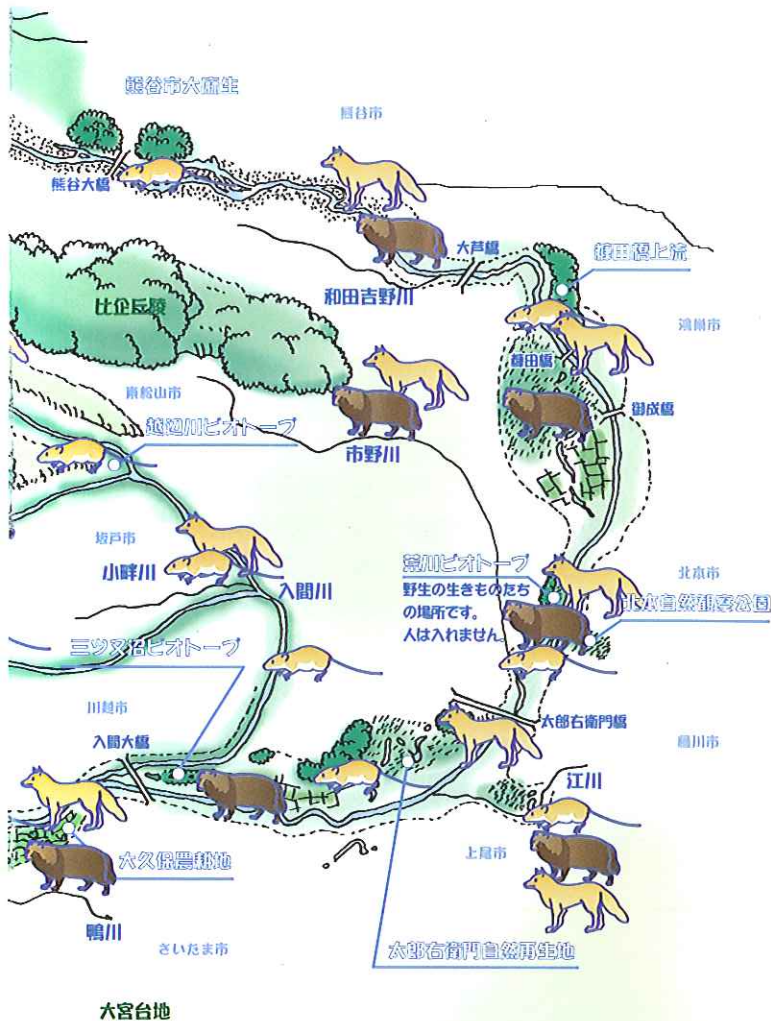


キツネ



カヤネズミ





ほ乳類を見るポイント

大きさ、色、形、見つけた場所は？

全体の大きさや色の他、胴体の形、耳の形、顔の形、尾の長さや太さなどを見よう。また見つけた場所はどんなところがよく観察してみてください。

落とし物、足あと、穴などに注目！

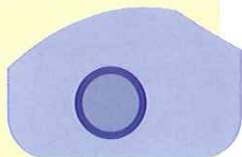
野外で、ほ乳類の姿を見るのはそう簡単ではありません。警戒心が強く、夜行性のものが多いからです。しかし、よく探すと、通り道にはふんが、泥の上には足あとが、斜面には巣穴の入り口が…と、姿は見えなくてもそこに動物たちの息づかいが感じられます。これらをヒントにいつかは本物に出会えるといいですね。



ふん



足あと



穴

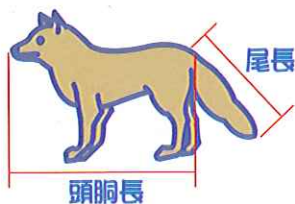
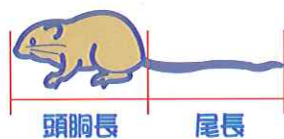


食べあと(クルミなど)

雨上がりや雪の降った日、夕方など活動しそうな時間をねらって探してみるのもいいよ。

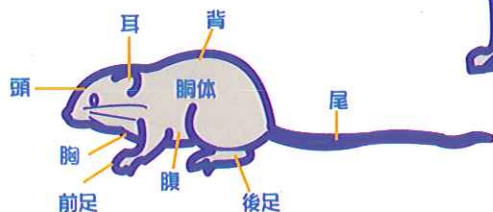
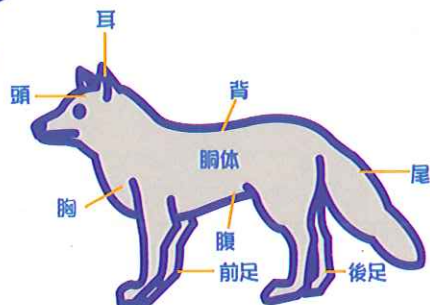
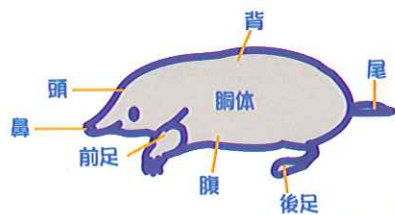


大きさ



ほ乳類の用語解説

- 日本固有種 日本にだけ生息し、他の地域では見られない種。



ジネズミ *Crocidura dsinezumi* トガリネズミ科



見られる場所

草はら

2002年4月18日 川島町出丸下郷
水辺近くの草はらや林のへり
りで生活する。落ち葉などが
少ない場所を好む。

埼玉県RDB
地帯別危惧(RT)

見られる時期

1年中



頭胴長：7cm

尾長：5cm



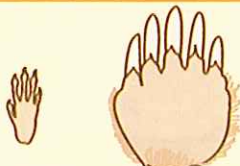
特徴

鼻先はとがる。尾は長い。耳は大きい。
春から秋にかけて数回子育てをする。
やわらかい土のところに枯れ草、小枝
などで皿状の巣をつくる。繁殖期のオ
スは強いにおいを出す。

食べもの

小さな昆虫やクモ、ムカデなどを食べる。

●地上にくらすモグラ



ジネズミの手

モグラの手

名に「ネズミ」とついています
が、モグラに近いながまです。トンネル
はつくらず、地上でくらすため、前
足はモグラのようにスコップ状では
ありません。かくれ場所のないとこ
ろを移動するときは、体を平たくし
てすばやく動きます。

ジネズミはモグラ
のように細かい歯
が並んでいるよ。
ネズミ類は犬歯な
どがないんだ。



ジネズミ



アカネズミ



ジネズミ



アズマモグラ *Mogera minor* モグラ科



見られる時期
1年中



頭胴長：13.6cm
尾長：1.8cm



見られる場所
草はら

2000年6月7日 川越市砂新田
草はら、畑、林の土の中などで生活する。

4時間活動して4時間寝るとい生活サイクルなんだって。



特徴

日本固有種。体型は円筒状で手足は短く、耳は退化している。体毛はやわらかく短い。トンネル内で前後に動きやすいよう毛の生え方に方向性はない。目は退化し小さいが、鼻先にはモグラ科だけにあるアイマー器官という触覚を感じる器官がある。口ひげも発達し触覚を持つ。

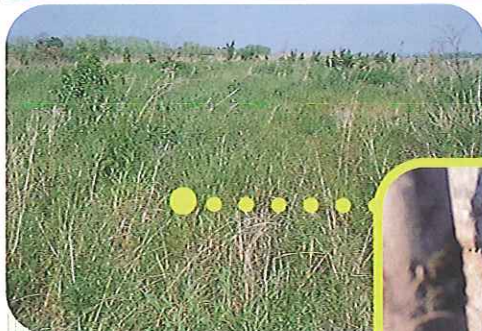
●ミミズのおいしい食べ方

とらえたミミズは頭から食べはじめます。ミミズの体表面の粘液や消化器官内の泥を嚙むように、ミミズの体をしごきながら食べます。中程まで食べたらミミズを半回転させ、尾のほうから再びしごき食べます。ミミズの消化器官内の泥は先に食べはじめたときの切り口から全て押し出されるというしくみのようです。



モグラ塚はトンネルを掘るときに出た残土。トンネルは直径約4cm、地下30～50cmよりも浅いことが多い。寝室、食料庫、トイレなどがそれぞれある。子育て時以外は1頭ずつ別のトンネルを掘って生活する。

食べもの
トンネルの中に落ちたミミズなどを食べる。

ノウサギ *Lepus brachyurus* ウサギ科

見られる場所

2003年5月26日 熊谷市広瀬

草はら

明るい草はらで生活する。
林の中も利用する。

食べもの

植物の葉、芽、細い枝、樹皮などを食べる。

埼玉県RDB
地帯別危惧(RT)

見られる時期

1年中



頭胴長：48cm

尾長：3cm



●やわらがいふん、がたいふん



ウサギの盲腸は独特です。食べたものは最初、盲腸内の微生物によって発酵され栄養価の高いやわらがいふんとなって一旦出ます。ビタミンをたっぷり含むこのふんを自分で再度食べ、その後によく見るがたぐいふんをします。こうして小さな体に対応させ、効率よくエネルギーをとっているのです。

特徴

日本固有種。耳、足は長く、尾は短い。耳の先は黒い。オス、メスともに単独で行動する。親子でも1日1～2回の授乳時の数分以外は、単独行動。1度に2頭出産するが、満一歳になるまでの生存率は20～50%。親は出産後すぐに交尾・妊娠が可能で繁殖力は高い。荒川で見られるノウサギは、冬になっても毛は茶色のまま。

日本のほ乳類の中で一番足がはやいよ！
時速80kmといわれている。馬のサラブレッドよりもはやい。



ハワネズミ *Microtus montebelli* ネズミ科



頭胴長：11cm
尾長：4cm

見られる時期
1年中



見られる場所
草はら

2003年5月9日 さいたま市桜区塚本
草はらや畑のまわりの
堤防で生活する。日の
あたるところを好む。
林に入ることはない。

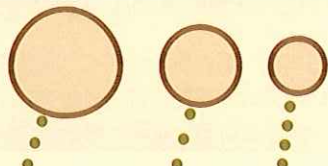
特徴

日本固有種。耳は小さく毛の中にかくれている。尾は短め。顔はずんぐりした印象。出産数が多いことや、食べものが植物に頼っていることから、植生の変化とともに大発生することもある。



尿は紫外線を反射しやすいらしい。チョウゲンボウ(63頁)などはそれを目印にしてつかまえるんだ。

●穴の主はだれ?



やや横長をしただ円形の穴。指が3本入る大きさ。

モグラ

まん丸の穴。指が2本入る大きさ。

ネズミ

まん丸の穴。指が1本くらい入る大きさ。

セミ



直径3.5cmほどの巣穴の入り口。まわりの草がかじられていたり、7mmほどの黒緑色のふんがあったり、穴に草が引きこまれていたりする。

食べもの

草の根や葉などを食べる草食性。

アカネズミ *Apodemus speciosus* ネズミ科

頭胴長：11cm
尾長：10cm

埼玉県RDB
地帯別危惧(RT)

見られる時期
1年中



見られる場所 2000年9月1日 川越市今福
林から草はら、畑のまわりなど広く分布する。

食べもの
植物の根、タネ、ドングリ、昆虫などを食べる。



特徴

日本固有種。耳は大きく、尾は長い。体は赤茶色。昼間は地下のトンネルにいる。夜間、えさ場からえさ場へと数十から数百mを一気に移動し、えさを食べる。



ドングリをよく食べるけど、食べすぎると渋みの成分によって寿命が縮まるといわれているよ。

●林の管理人



ネズミがオニグルミを食べたあと。

アカネズミはドングリを落ち葉の下や巣穴の中に貯蔵する習性があります。口も開まらないほどドングリをつめこんで運び貯蔵します。その量はひと季節で数kg。食べ残したドングリは、やがて芽を出し、新たな林をつくるのに貢献します。

カヤネズミ *Micromys minutus* ネズミ科



頭胴長：6.5cm
尾長：7.2cm

埼玉県RDB
準絶滅危惧NT1・2

見られる時期
1年中



2003年5月9日 さいたま市桜区塚本

見られる場所

ススキ・オギやチガヤなど比較
的乾いた草はらで生活する。

草はら



特徴

体重は7~14g。尾は長い。チガヤなどが生える草丈の低い場所では地面から35cmくらい、オギなどが生える草丈の高い場所では120cmくらいのところの巣をつくる。かつては集落のまわりの草はらにもいたが、今は河川敷に残された草はらに依存している。

食べもの

植物のタネやバッタ、クモなどの小さな昆虫を食べる。

世界最小のネズミだよ！ 体重は1円玉約7枚分。



●草の家



カヤネズミの巣

巣は子育て用と休息用があり、子育て用は大きくてち密なつくりをしています。チガヤのやわらかい穂はふとんがわりに使います。巣が荒らされたときは、母ネズミは新しい巣を4~5時間てつくりあげ、1夜のうちに、子を1頭ずつ運んで引っ越します。

タヌキ *Nyctereutes procyonoides* イヌ科



頭胴長：70cm

尾長：50cm

埼玉県RDB
地帯別危惧(RT)

見られる時期
1年中



見られる場所
林・草はら

2003年5月9日 さいたま市桜区塚本
しげみなどで生活する。

特徴

体型は丸い。足は短く、尾は太い。背中と腹は黄褐色。前足と後足、目のまわりは黒色。巣穴は自然にできた穴、キツネなどが掘った穴や建物の床下などをよく利用する。



おどろくと失神して
動けなくなるよ。これ
が「狸寝入り」と
いわれるもの。



何頭もが同じ場所にふんをする（ためふん場）。互いの情報交換の場となっている。ふんの中には植物のタネが含まれるため、タネをまくのに役立っている。



食べもの

ミミズや果実など地面の上には落ちているものを食べる。雑食性。

●交通事故多発！



近年、動物の交通事故が多発しています。なかでもタヌキは最も事故が多い動物です。自然が矢われ、ほそほそとくらす動物たちにおそいがかる、人が生み出すさらなる脅威です。

キツネ *Vulpes vulpes* イヌ科



埼玉県RDB
地帯別総根(RT)

見られる時期
1年中



頭胴長：70cm
尾長：50cm



見られる場所
林・草はら
2003年5月12日 北本市荒井
明るい草はら、林
などで生活する。

昔はキツネの尿が
がった石などをネズ
ミよけとして使って
いたんだって。



特徴

鼻先はとがる。頭はやや平たくほ
っそりしている。耳は大きく、尾
は長くふさふさしている。オスは
なわばりを示すため、目立つもの
に、においの強い尿をかける。



巣穴のトンネルは深く、
出入り口は複数ある。

食べもの

木の実や昆虫、ネズミ、鳥、ウサギ
などを食べる。肉食性の強い雑食。

●プロのハンター

キツネはさまざまな狩りのテクニ
ックを持っています。地上1mほど
跳び上がり右往左往する獲物の上に
ダイビングし、押さえ込んでつかま
えたり、草はらを歩きながら、穴か
ら出てくるネズミなどが草をこする
音を聞きつけ、鼻先を草の中に突っ
込んでとらえたりします。

イタチ *Mustela itatsi* イタチ科

頭胴長：♂33cm
尾長：♂14cm

埼玉県RDB
地帯別危惧(RT)

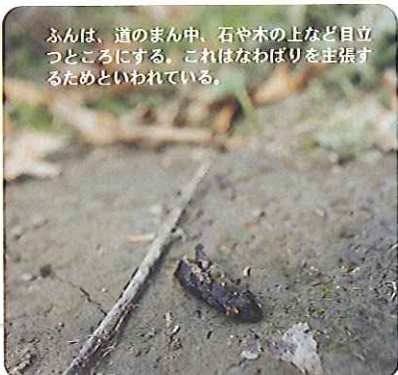
見られる時期
1年中



特徴

日本固有種。体型は胴が長く、足は短い。オスはメスの3倍の体重がある。早朝や夕方に活発に活動する。子育ては5~6月ごろ、1度に4~5匹の子どもを産む。身の危険を感じると黄色のくさい汁を出す。これをイタチの最後っ屁^ペという。かつてネズミ駆除のため各地で放された。

ふんは、道のまん中、石や木の上など自立つところにする。これはなわばりを主張するためといわれている。



見られる場所

草はら

2000年5月4日 橘川市川田谷

水辺の草はらで生活する。林の中も利用する。

食べもの

ネズミ、ウサギ、カエル、アメリカザリガニ、ヘビ、小魚などを食べる。



小さなすき間も通り抜けるよ。

芸達者

イタチは地上でくらす動物ですが、水泳、木登りなどひととおりのなす万能ハンターです。垂直な壁も登れば、ときには川にもくってウナギをつかまえることもあります。特にネズミをつかまえるのが上手といわれています。

●似ている種類を見分けよう！ フィールドサインの見分け方

足あととやぶんから、何の動物が見分けてみよう！

足あと

ふん

タヌキ (30頁)

ネコの足あとに似るがタヌキは爪あとがついている。



ためふんとなっていることが多い。親指くらいの太さ。

キツネ (31頁)

足あととは1列にまっすぐ並び、



新しいふんは、生かさいにおいがする。親指くらいの太さ。

イタチ (32頁)

5本指が特徴。



目立つ場所にある。小指くらいの太さ。

ノウサギ (26頁)

後足が長い。



少しへんべいな丸い形。コロコロしたふんをまとめる。

ネズミ類 (27-28頁)

後足が大きい。



細長く、小さい。黒っぽいつばが点々とある。

レッドデータブックとは

絶滅のおそれのある野生の生きものの状況をまとめ本のことをレッドデータブックといいます。日本全体での減少状況をまとめたもの（環境省発行）と都道府県の範囲内での減少状況をまとめたもの（都道府県発行）等があります。

野生の生きものの絶滅は、小さな範囲での絶滅が各地で起こることによって全体での絶滅を招きます。それぞれの地域で、それぞれの地域の自然を守ることが絶滅の輪を大きくしないために必要です。

各地域ごとに自然
を守り育てることが
大切なんだ！



レッドデータブックカテゴリー定義

※は埼玉県レッドデータブックでの追加カテゴリー

絶滅 (EX)	対象とする地域では既に絶滅したと考えられる種
野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下でのみ存続している種
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅の危機が増大しているもの
準絶滅危惧 (NT)	現時点では絶滅危険度は小さいが、生息状況の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
※準絶滅危惧 (NT1)	環境条件の変化によって容易に絶滅危惧に移行しうる属性を本来有しているもの
※準絶滅危惧 (NT2)	生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの
情報不足 (DD)	上記のカテゴリーに評価するだけの情報が不足している種
絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で絶滅のおそれが高いもの
※地帯別危惧 (RT)	地帯別に見たときに存続基盤が脆弱な種